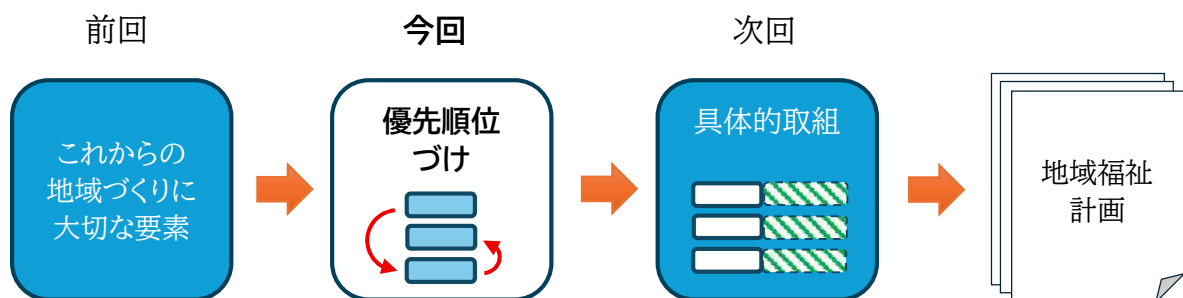


グループワークの進め方

1. 前回のグループワークと今回のグループワークのつながり

- 前回の委員会では、「相乗りの魅力」「単独で活動を実施するしんどさ」についてグループでディスカッションしていただきました。その内容が別紙「地域づくりにおける地域でのつながりについて」です。
- 本日は、それらの意見の中から「2030年の芦屋に一番大事なものはどれか？」についてディスカッションしていただきたいと思います。
- そして次回では、今回選んだ「一番大事なもの」をどう実現するか(具体的な取り組み)を考えます。
- ご意見は、次期地域福祉計画、地域福祉推進計画に反映させていきたいと考えています。



2. グループワークの流れ(約 60 分)

内容	時間	説明
グループ内自己紹介	10 分	話しやすい雰囲気づくりのためにアイスブレイクを兼ねてグループ内で自己紹介をします。
個人ワーク	5 分	A4 ワークシートに「2030年の芦屋に一番大事なもの」と「その理由(ココロ)」を記入します。
グループワーク	30 分	メンバー同士で共有し、意見交換しながらグループとして「一番納得・共感できるもの」を1つ選びます。
全体共有	15 分	各グループで選んだ内容を発表します。
総括コメント	10 分	藤井先生からまとめのコメントをいただきます

3. グループ構成と進め方

- グループは、委員 6 名＋ファシリテーター（社協職員・地域福祉課職員など）で構成。
- イスだけのサークル型（車座）で座り、**委員同士の対話を重視**します。
- ファシリテーターは、話し合いをサポートしながら、重要な意見をホワイトボードにまとめます。

4. 話し合いのポイント

- 「2030 年の芦屋にとって大事なもの」を、委員それぞれの視点から出し合ひましょう。
- 他の委員の意見に耳を傾け、**共感できるものを探す**ことが大切です。
- 最後は、グループとして 1 つに絞り、他の意見も含められるように工夫します。

5. 安心して話すために

- どんな意見でも歓迎です。「思いついたこと」を自由に話してください。
- わからないことや気になることがあれば、遠慮なく聞いてください。
- 話し合いの中で、「なるほど！」と思ったことは、ぜひ言葉にしてみましょう。
- 「声」と「リアクション」は通常の2倍でお願いします！

